

みずこし

～ 元気いっぱい 笑顔いっぱい 夢いっぱい ～

冬休みを迎えます

早いもので、冬休みを迎えます。そして、暦は年の瀬です。1年の終わりです。豪雪で迎えた平成23年でした。雪が消え始めた頃に、東日本大震災が発生し、何かと不安を抱えながら新年度を迎えた年でした。震災からの復興に向けて日本人が絆を深め歩んできたこの1年だったと思います。子ども達にとっても「思いやり」「優しさ」「人のため」等の人として持つべき心のありかたについて考えさせられる年であったと思います。来年は平成24年です。来年は「古事記」ができて1300年目にあたるそうです。古事記といえば「やまたの大蛇」や「因幡の白兔」等の神話が記されています。その時代を生きた古代人は、自然に真摯に向き合い、常に土の響きや海の響きを聞いて過ごし、自然の営みに自分たちを合わせることが大切であるという古事記を通して教えてくれたような気がします。現代人は個人を尊重しすぎて、「自然は動かないもの」ととらえ、手段かまわず自分たちの都合がよいように利用してきています。自然は利用するものではなく、「感じるもの」「感謝するもの」「共生するもの」であって、人間はその一部にすぎないということを再度認識しなければなりません。今年の秋田県内で発生した有感地震は170回近くあるそうで、その6割以上が土川・稲沢方面だそうです。まだまだ、油断ならない状況であることは確かです。今年、自然がもたらした様々な教訓を忘れないで、何事に対しても、謙虚で真摯な生き方を忘れずにしていきたいものです。

土川小学校はいよいよ、3月31日で閉校となります。今年は統合・閉校に関する様々な会議がもたれた皆さんの保護者の方々に参加いただき、熱心に話し合いに参加してもらいました。どの話し合いにおいても感じたことは、保護者の皆様の子どもに対する強い愛情です。それは、この地域の伝統だと思います。これは、今後ずっと受け継がれていくものだと思います。統合しても、子どもという地域の宝をみんなで守り、育てていくという気持ちを一層強く持ち続けていきたいものです。

冬休みに頑張っって欲しいこと

1. 早起きと早寝

特に、年末年始のテレビ番組に誘惑されず早寝に心がける。早起きをして、何か一つお手伝いを継続する。『早起きは、三門の徳』

2. 家庭学習ノートに復習の勉強をする

特に、教科書が厚くなった算数の計算などは復習も兼ねて繰り返す。ノートの下欄を3行くらい開けておき、その日の日記を書く。

3. 読書

必ず、一冊は読みましょう。あと少して、学校の図書ともお別れです。

ただ、やるのではなく、身につくようにやる。

交通事故が頻発しています

秋田県内は12月になり交通事故が頻発しています。土川地区でも、農協のガソリンスタンドで大きな衝突事故があったことは、ご存じだと思います。場所が場所だけに、大変な事故でした。その他も、交通事故のニュースは新聞に報道されていますが、先週の金曜日『高梨小学校の6年生の男の子が夕方、車にはねられ意識不明の重体』になるという交通事故が発生しました。その後の子どもの容体はわかりませんが、回復を祈るばかりです。交通事故は身近に起こっています。学校でも、子ども達に話をしましたが、どうかご家庭でも登下校や外出の際は十分前後に注意を払い歩くようにお話下さい。特に、これから、吹雪いてくると下を向いて歩くようになります。

- ①前方への注意が不十分になります。前をしっかり向いて歩く。
 - ②突然道の真ん中方面にはみ出したりしない。
 - ③車の気配を感じたら歩行をやめて、道の上によける。
- 以上宜しくお願いします。

バス待ちの子ども達への指導

公というのは、自宅外すべてです。スクールバス一つとっても公です。ワイワイ騒いで乗ることは運転手さん始め他に迷惑をかけます。中学生も乗るわけですからなおさらです。バスの中では静かに座ることを改めて指導しました。帰りのバスを待っている時も、整列しないで、バス停付近で遊んでいる様子が見られ、きちんと並んで待っているようにも指導しています。子どもだから許されるということは、公では通用しません。しつけ所はきちんと指導していきたいと思えます。どうかご家庭でも宜しくお願いします。本校児童について気になる点がございましたら学校へご一報下さい。

『土川小学校を語る会』へ

ふるってご参加を

P T A 終了後、閉校記念誌、閉校式、語る会の部会が開かれました。遅くまでご難儀をおかけしました。2月19日(日)の閉校式終了後、ユメリアで土川小学校を語る会が開かれることはご存知だと思います。この会は、土川小学校の思い出を語り、みんなで当時は懐かしみながら語り継ごうという趣旨で行います。ですから、主役は学校で学んだお父さんやお母さんであり、現在子どもを学校に入れておられるお父さん・お母さんです。ご来賓も方々も来られるわけですが、保護者の方々のたくさんのご参加を期待します。ふるってご参加をお願いします。保護者の参加人数が少ない場合は、後日再度お誘いをいたしますので、ご了承下さい。

